



Dai 1 NAIKA News

三重大学病院 循環器内科,腎臓内科,総合内科 広報誌【創刊号】

発行/三重大学大学院 循環器・腎臓内科学
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/intmed/index.html>

創刊にあたって

三重大学大学院循環器・腎臓内科学
伊藤正明



晩秋の候、先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。先生方には、患者様のご紹介をはじめいろいろお世話になっており有難うございます。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、三重大学病院もあと1年ほどで新病院に移行します。今後先生方の更なるお力添えを頂き、今後の大学病院のよりあるべき姿に、診療体制を発展させていきたいと思っております。

我々第一内科のメンバーは大学病院におきまして、循環器内科、腎臓内科、総合内科を担当し、さらに第二内科、第三内科のメンバーと連携して消化器・肝臓内科の診療にも携わっています。今後はこれら診療領域におきまして、先生方のご協力を頂き、病診連携、病病連携をさらに進めて、診療を行ってまいりたいと思っております。

この度、大学病院で私どもの診療等に関する活動をお知らせする広報誌“Dai 1 NAIKA News”を年4回程度の予定で発行させて頂くこととなりました。Dai 1 NAIKA Newsでは、診療に関する情報、ワ

ンポイントレクチャー、新任医師の紹介など新しいいろいろな情報をお届けしたいと思っています。

循環器内科、腎臓内科等の領域で、私どもでお手伝いできる患者様がおられましたら、ご紹介いただければ幸いです。また、近々、病診連携の勉強会を開催したいと思います。これらの点に関しまして、先生方よりご要望、ご意見などがございましたら是非お知らせください。また、循環器内科、腎臓内科ホットライン（病棟主任に直接つながります）の携帯電話を設置しましたので、ご利用頂ければ幸いです。

今後ともよろしくお願いいたします。

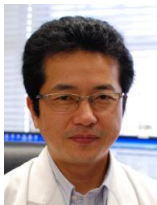


建設中の新病棟

循環器内科, 腎臓内科, 総合内科

診療体制

循環器内科長：伊藤正明
腎臓内科長・血液浄化部長：壺村信介
総合内科副科長：中村真潮
消化器内科副科長：白木克哉
8階東病棟医長：坂井正孝



中村真潮
月曜日(再診)木曜日(初診)の循環器内科外来を担当しています。
現在の研究課題はメタボリックシンドローム 高血圧症 静脈血栓塞栓症 動脈硬化性疾患 肺高血圧症です。

三重大学第一内科の診療は、循環器内科、腎臓内科、総合内科、そして消化器内科の第一内科グループからなっています。

ここでは、循環器内科、腎臓内科、総合内科の診療に関するご紹介をいたします。

循環器内科、腎臓内科、総合内科は、8階東病棟を中心に入院治療を行います。各診療部門は互いに連携しながら診療を行っており、どのような疾患においても対応させていただきます。患者に関するご相談や緊急受診のご依頼は、裏面の循環器内科・腎臓内科救急ホットラインへご連絡いただけましたら幸いです。



循環器内科では、心臓・血管に関連したあらゆる疾患の内科的診療を行っています。また、高血圧や脂質異常症などの心血管リスク因子に関する精査・加療にも積極的に関わっております。虚血性心疾患や心不全、不整脈などでは救急体制を整備しており、昼夜を問わず緊急患者

の受け入れが可能です。

腎臓内科では、腎機能や検尿の異常、腎炎・ネフローゼ症候群の診断治療に加えて、糖尿病や膠原病など全身疾患に伴う腎障害の診療も行っております。腎機能急速悪化例における緊急透析体制も整っております。

循環器内科・腎臓内科では、月曜日から金曜日までいつでも初診外来診察が可能であり（腎臓内科のみ火曜日は休診）、軽症例から難治例まで幅広く初診患者を受け付けております。病診連携に重点をおいて安定した患者は紹介元の先生に逆紹介させていただき、必要な場合は大学病院と地域の先生方と併診体制をとるようにはしております。

総合内科は、第一内科としては病棟部門を担当しております。複数の診療科にまたがる患者やいずれの診療科にも該当しない患者など、専門診療科の決め難い患者の幅広い精査加療を行っております。病棟医長などに気軽にご相談ください。

(文責：中村真潮総合内科副科長)



●尿蛋白について

尿蛋白定性検査（いわゆる試験紙法）では、糸球体性のアルブミン尿を検出することが主たる目的であります。逆に小分子量の蛋白などは定性では検出が難しいこともあります。

正常尿には総蛋白として1日40~80mgが排泄されておりその上限は1日150mgとされており。試験紙法で陽性の結果を認めた場合、糸球体性蛋白尿の他に、尿管性蛋白尿などの可能性を除外、鑑別していく必要があります。

一般的に尿蛋白が多いことは腎障害進展の要因であります。腎障害の進展を予防するには、原因を解明すること、腎疾患自体の治療としてステロイド治療を行うことや、血圧を良好にコントロールして蛋白尿を減らすことが重要となります。治療の適否あるいは治療効果を検討する目的で尿蛋白の定量、その経時的変化を外来で行って頂けると幸いです。尿蛋白定量をする上で、毎回蓄尿をして頂くことは難しいかと思しますので、尿蛋白とともに尿中クレアチニンの定量を行い、尿蛋白/クレアチニン比を算出してください。この値は一日総蛋白量と良く相関します。またCKD、CVD、心腎連関などにつながりますが、一般の健診データを集めて約10万人の尿蛋白定量と100万人規模の尿蛋白定性を行った最近の報告(Lancet 2010; 375:2073-81)ではeGFRが低下すると全死亡、心血管死亡ともに増加することの他に、同一のeGFRでも蛋白尿が増加することで全死亡、心血管死亡ともに増加するとされています。このように尿蛋白は簡便に測定できる項目でありながら、腎予後だけでなく生命予後にも関連してくる非常に重要な検査項目です。くれぐれもお見逃しのないようご配慮下さい。

紙面の都合上触れませんでしたでしたが、当科では糸球体性血尿、蛋白尿の原因検索として積極的に腎生検を行い（年間120-150例と



聖村信介

月・木曜日(初診)金曜日(再診)の腎臓内科外来を担当しています。専門分野は臨床腎臓学、透析学です。

言う数字は全国的に見ても多いです)、診断確定、治療方針の決定に役立てております。検尿異常でお悩みの患者様がいらっしゃいましたら、是非ご紹介頂けますと幸いです。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(文責：聖村信介血液浄化部長)

新任医師紹介

循環器内科 助教 谷川高士

動脈硬化の評価・治療は私にお任せ下さい！

10月1日付で三重大学医学部附属病院循環器内科に赴任いたしました。

虚血性心疾患および末梢動脈疾患に対するカテーテル治療を専門とし、最新治療をより安全に行うことを目指しています。また、動脈硬化の早期発見・早期治療にも積極的に取り組んでいます。

当院では、様々な検査を用いて全身の動脈硬化を評価し、状態に応じた適切な治療を開始します。心臓や下肢の血管に強い動脈硬化が認められた方に対しては、最新の医療技術を駆使した血管内治療を積極的に行っています。「すべては患者さまのために」を信条に、より高度でより安全な医療を提供したいと考えています。



病棟医長紹介

循環器内科 助教 坂井正孝

先生方にはいつもお世話になっております。循環器、腎臓内科病棟ではスタッフ計21名で日常診療を行っておりその内訳は不整脈グループ3名、虚血グループ3名、心不全グループ6名、肺循環グループ3名、腎臓内科が6名で各々のチームが専門領域に特化した治療を行っております。これが一般病院にはない大学病院の強みです。循環器、腎臓領域でお困りの症例がございましたら24時間緊急対応も行っておりますので是非ご紹介のほど何卒宜しくお願いいたします。



お知らせ

●病診連携勉強会開催予定

今後、かかりつけ医の先生方との連携を深め、地域に密着した医療を実践していくために病診連携勉強会の開催を計画しております。

つきましては、本勉強会の具体的な内容を決めるのにあたり、皆様のご意見をいただけたらと思っております。お忙しい中お手数をおかけしますが同封させていただきましたアンケート用紙に御記載の上、FAXにてご返送いただきますようよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせは

三重大学医学部附属病院第一内科
Tel 059-231-5015 Fax 059-231-5201

●循環器内科・腎臓内科外来担当がリニューアルされました。

		月	火	水	木	金
循環器	初診	伊藤 山田 中嶋	藤井 小西	田辺 岡本	中村 坂井 中森	谷川 杉本
	再診	中村 谷川 太田 土肥	藤田	谷口	澤井	山田 土肥 藤井
腎臓	初診	聖村	休診	石川	聖村	村田
	再診	石川	休診	休診	休診	聖村

●第一内科ホームページを開設しました。

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/intmed1>

三重大学病院循環器内科、腎臓内科

～患者様をご紹介ください～

1 FAX 新患予約

「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可)に必要事項を記入の上、FAX059-231-5541に送信してください。15分以内に折り返しFAXで診療予約の回答をさせていただきます。

2 緊急受診、ご相談等

下記、循環器内科、腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先(直通)

内科外来：059-231-5146

病棟：059-231-5101

FAX：059-231-5518

研究棟：059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。

本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。
naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

